ナレーション用マイク・セットについて

このたびは、ビデオ SALON 通販におきまして、ナレーション用マイク・セットをお買い上げいただき、ありがとうございました。このセットは、個人制作の映像作品においても高いクォリティのナレーション入れが可能になるように、ビデオ SALON 誌が選定したものです。複数のメーカーの製品の組み合わせとなっておりますので、マイクについては、RODE　NT1-A の取扱説明書を、USB オーディオインターフェイスについては、ローランド TRI-CAPTURE UA-33 の取扱説明書をご参照ください。

ナレーション用マイク・セットは以下で構成されています。内容物をご確認ください。

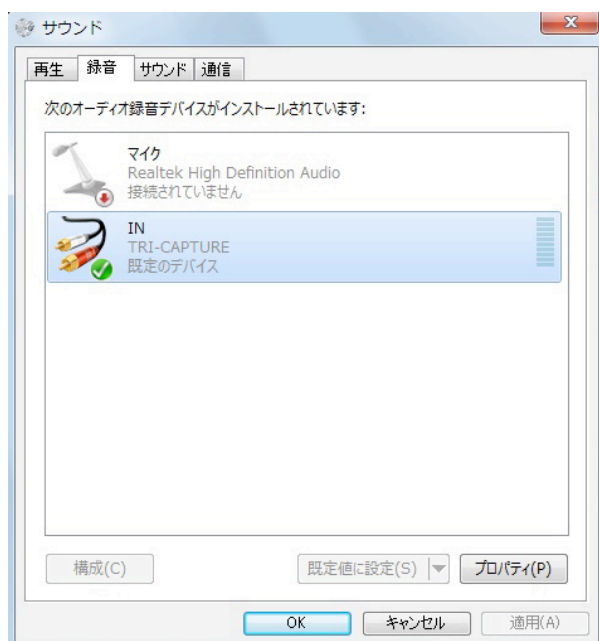
- コンデンサーマイク　RODE(ロード) NT1-A
  (サスペンションホルダー、ポップガード、マイクケーブル同梱)
- USB オーディオインターフェイス　ローランド TRI-CAPTURE(UA-33)
- 卓上マイクスタンド
  (写真のキーボードはセットに含まれません)

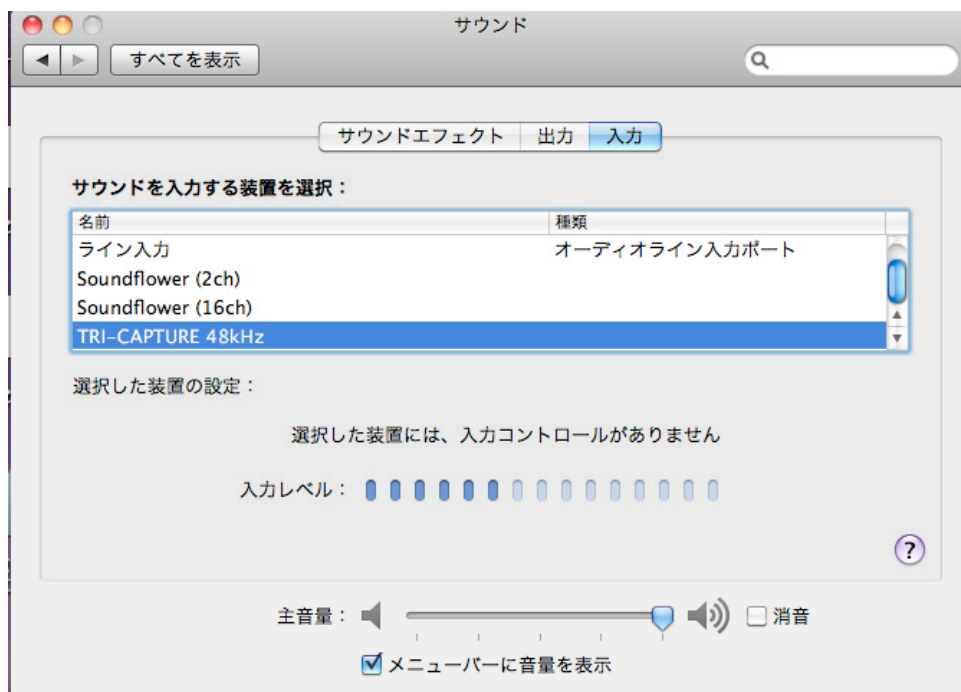
本システムは、PC の編集ソフトに直接ナレーションを入れられるものです。接続はこのようにマイクと PC の間に USB オーディオインターフェイスを組み入れます。

使用上の注意点

１．まず USB オーディオインターフェイス、ローランド TRI-CAPTURE(UA-33)のドライバ(同梱の CD-ROM)をパソコンにインストールし、TRI-CAPTURE を使える状態にしてください。TRI-CAPTURE の設定と使用方法は、TRI-CAPTURE 同梱の取扱説明書を参照してください。付属のソフトは特にインストールする必要はありません。

２．パソコンで、TRI-CAPTURE 経由で録音するには、設定が必要です。ウィンドウズの「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」～「オーディオのデバイスの管理」から、録音用のデバイスとして、TRI-CAPTURE を選択してください。再生も TRI-CPUTRE 経由にしたい場合は、再生でも TRI-CAPTURE を選択します。Mac の場合も同様の設定がありますのでオーディオ録音用として TRI-CAPTURE を選択してください。

▼ウィンドウズ７の場合～コントロールパネルで「オーディオのデバイスの管理」から

▲録音の項目で「TRI-CAPTURE」を選択する。

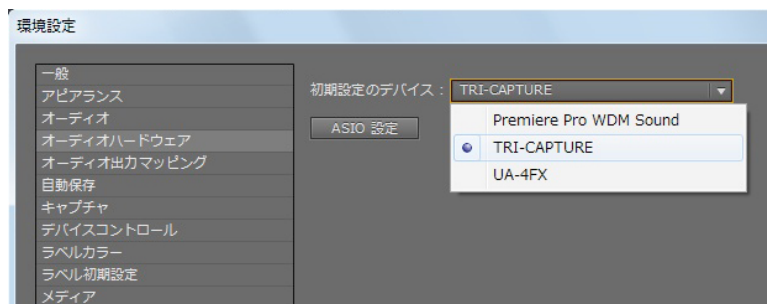
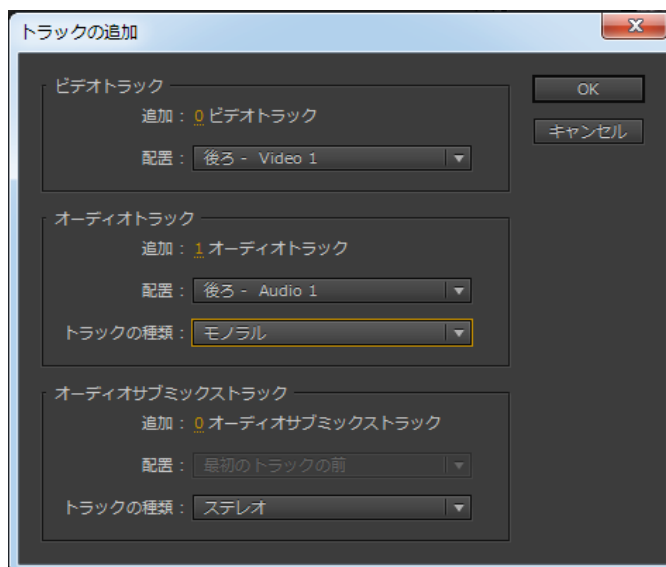
マックの場合～システム環境設定の「サウンド」から

▲サウンドで「TRI-CAPTURE 48kHz」を選択する。

３．マイクをサスペンションホルダー、マイクスタンドにセットし、マイクケーブルをTRI-CAPTURE の入力（XLR）に接続します。この際、TRI-CAPTURE のパネルにPHANTOM ボタンがありますので、これを「**48V** 」にしてください。

４．ビデオ編集ソフトを使って、パソコンに直接ナレーションを録音することができますが、オーディオ入力を「TRI-CAPTURE」にしておく必要があります。

● グラスバレーEDIUS 6 の「ボイスオーバー」機能での例

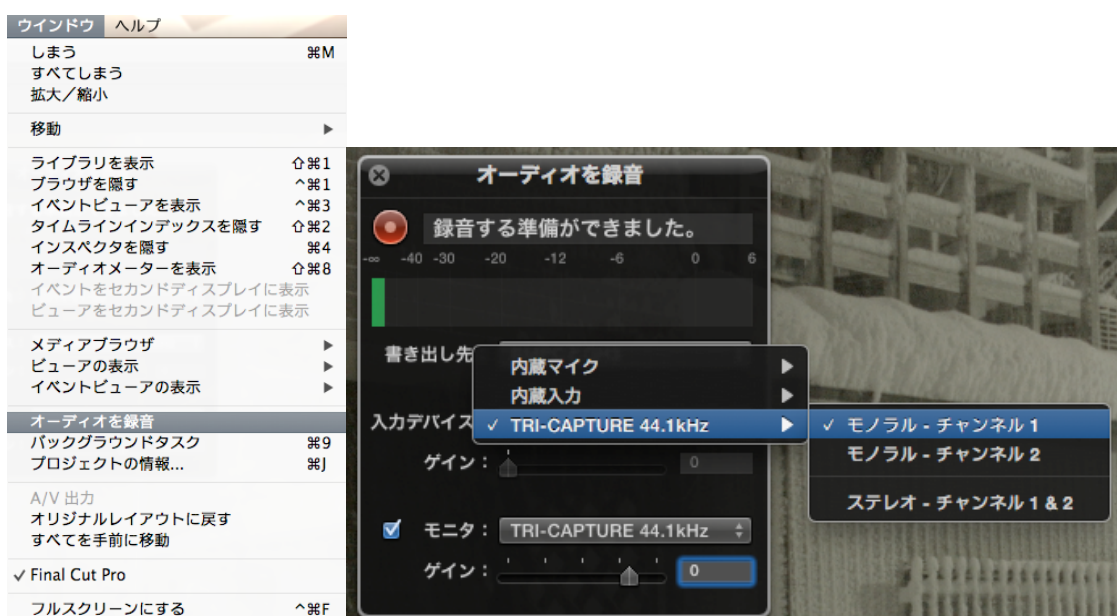
▲ボイスオーバー機能を使用。

● Adobe Premiere Pro は「オーディオミキサー」のウィンドウを開いて録音

▲まずは「環境設定」の「オーディオハードウェア」で TRI-CAPTURE を選択

▲「トラックの追加」でナレーション用のオーディオトラックを追加しますが、このときにトラックの種類を「モノラル」にします。

▲オーディオトラックミキサーのパネルで、ナレーションを入れたいオーディオトラック（上の場合は Audio 2）の R ボタン（このトラックに録音）をクリックし、パネルの右上のタブを開き、「メーター入力のみ」にチェックを入れると、レベルメーターが振れ始めます。レベルを調整し、下にある赤い REC ボタンを押してから、再生ボタンを押すとマイクからの録音が開始されます。できあがった音声ファイルはタイムラインに乗っています。

▲録音した後の再生中の画面です。オーディオ１は現場音（ステレオ）、オーディオ２はナレーション（モノラル）になっています。

●Final Cut Pro7 は「ツール」から「ボイスオーバー」機能を選択

●Final Cut Pro X では、「ウィンドウ」から「オーディオを録音」を選択

▲「ウィンドウ」メニューから「オーディオを録音」を選ぶと、録音ウィンドウが開きます。入力でバイスは TRI-CAPTURE を選び、「モノラル・チャンネル１」を選びます。レベルメーターが振れれば準備完了です。レベル調整をした後、赤い REC ボタンを押すと、タイムラインのカーソルを置いた箇所から再生を始めるので、映像を見ながらナレーションを入れます。

５．48V 電源供給が可能なマイク入力を持つ業務用のビデオカメラやハンディレコーダーをお持ちの場合は、TRI-CAPTURE がなくても、コンデンサーマイク NT1-A と業務用カメラの組み合わせで録音することができます。

※コンデンサーマイクは湿気に弱く、湿気がついた場合、音声にノイズが乗ってしまうことがあります。使用しない時は卓上に出しっぱなしにせず、乾燥剤を入れて保管してください。特に湿度の高い梅雨時期や雨天時はお気をつけください。